

神戸大学 大学文書史料室

Kobe University Archives

神戸大学百有余年の
伝統ある歴史が
今ここに…



年次報告書 令和3年度

ご挨拶

神戸大学大学文書史料室は、平成22年4月1日に設置された神戸大学公式アーカイブズです。その目的は、本学の法人文書のうち歴史資料として重要な文書として移管されたもの、寄贈・寄託されたもの、その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することにより、国から「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）に指定されています。

本報告書は、令和3年度に大学文書史料室が実施した様々な事業を整理したものであり、いわば各事業の実績に関する自己評価に相当するものです。本報告書を通して、多くの方々に大学文書史料室の活動をご理解いただくとともに、これからの大学文書史料室の運営に関して忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

目次

1. 法人文書移管受入れ等

1-1. 法人文書移管協議	1
1-2. 法人文書等の受入れ状況	2
1-3. 目録入力	3

2. 利用状況等

2-1. 利用状況	4
2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化	5
2-3. 展示会の開催	6
2-4. 他機関等からの見学受入れ	8
2-5. レファレンス対応	8

3. 研修その他

3-1. 研修の実施	9
3-2. その他	10

沿革	12
----	----

歴代大学文書史料室長	12
------------	----

令和3年度 評価と課題	12
-------------	----

大学文書史料室概要（令和4年4月1日）	
---------------------	--

本報告書は、令和3年度における神戸大学大学文書史料室の活動をまとめたものです。数値は、令和4年3月末時点のものを基本とします。

1. 法人文書移管受入れ等

1-1. 法人文書移管協議

【事業計画※】

(※令和3年3月22日大学文書史料室運営委員会承認)

令和3年度における法人文書移管協議(評価選別及び現物確認を含む)は、次のとおり実施する。

・年間スケジュール(予定)

12月～2月 全学の「法人文書ファイル管理簿」(総務部総務課の取りまとめで12月頃完成予定)を基礎データとして「法人文書移管協議のための台帳(移管協議台帳)」案を作成し、全学各部局の文書管理者との移管協議を実施する(法人文書の評価選別と現物確認を含む)。

2月～3月 移管・廃棄の措置について大学文書史料室運営委員会で審議決定し、その結果を室長名で総括文書管理者(事務局長)に報告する。

・対象

移管協議の対象は、次のとおりとする。

対象: 令和3年度末(2022.3.31)に保存期間が満了するもの

- 令和3年度における法人文書移管協議は、当該年度末に保存期間が満了する神戸大学法人文書計3,660件を対象に2月7日から3月23日までの約1ヶ月半実施され、移管697件(移管率19%)、廃棄2,794件、保存期間延長169件が決定した。この協議結果に基づき、移管の受入れを令和4年度に実施予定である。

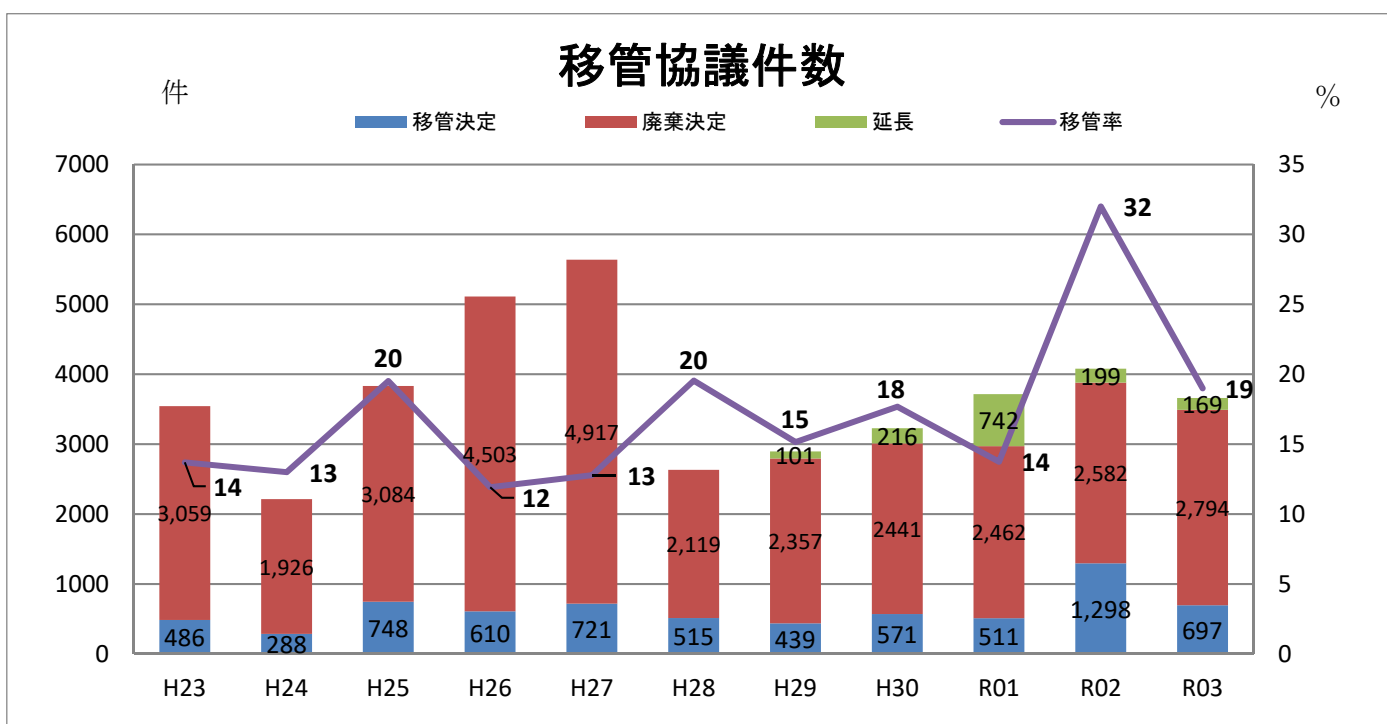
令和3年度法人文書移管協議の結果

移管協議の対象	総件数	協議結果			移管率	移管年度
		移管決定	廃棄決定	延長		
令和3年度末保存期間満了分	3,660件	697件	2,794件	169件	19%	R4

(注1) 「移管決定」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため、実際の冊数や受入れ後の目録入力件数とは異なる。

(注2) 移管決定697件には、旧農学研究科(旧兵庫農科大学を含む)の旧文書160件(移管決定総件数の23%)を含む。

(注3) 令和4年度第1回大学文書史料室運営委員会の審議時点では、総件数3,663件、移管決定700件、廃棄決定2,796件、延長167件であったが、その後、4部局から修正(移管決定を延長に修正2件、移管決定から重複登録分を削除2件、廃棄決定から移管へ修正1件、廃棄決定から誤登録分を削除1件)があったため、上表のとおりとなった。



※令和3年度には農学研究科旧文書160件を含む

1-2. 法人文書等の受入れ状況

【事業計画】 令和3年度における法人文書等の受入れは、次のとおり実施する。

- ・法人文書(令和2年度法人文書移管協議の結果に基づく移管)の受入れ
期間: 令和3年4月~6月末(予定)
対象: 令和2年度末(2021.3.31)に保存期間が満了したもの
- ・学内印刷刊行物の受入れ
期間: 令和3年4月~6月末(予定)
対象: 主に令和2年度に作成された学内印刷刊行物
- ・個人・団体からの寄贈寄託文書等の受入れ
期間: 随時

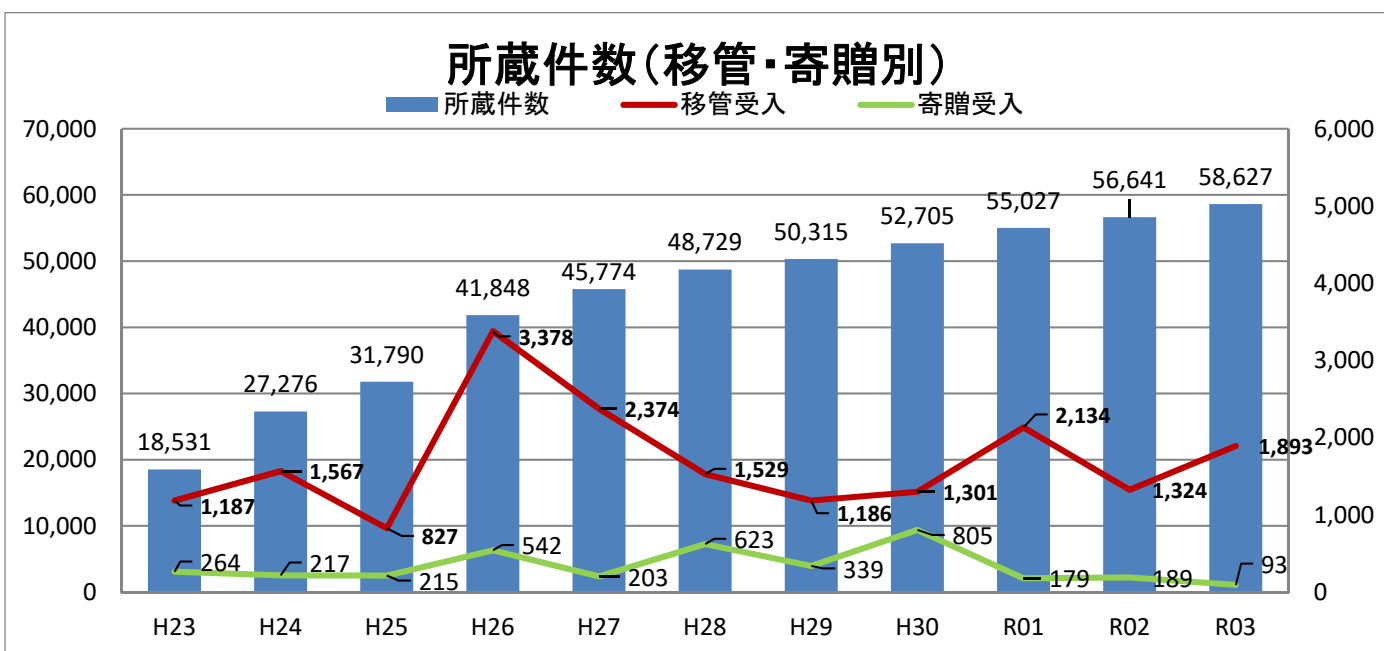
- ・ 令和3年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 1,893 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 93 件(以上、公文書管理法第2条第7項が規定する「特定歴史公文書等」に該当。)、他大学史等の参考図書 109 件、計 2,095 件である。

令和3年度における法人文書等の受入れ状況

受け入れた法人文書等			受入れ件数	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書(移管協議に基づく移管)	1,433 件	1,986 件
		法人文書(上記以外の移管)	10 件	
		学内印刷刊行物	450 件	
	(小計)	1,893 件		
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	93 件		
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)		109 件	
合計			2,095 件	

(注1) 「法人文書(移管協議に基づく移管)」の受入れ件数は、移管受入れ時点では、1,298 件だったが、分冊や関連文書等をまとめて1件としていたため、目録入力時に改めて分冊等ごとに1件としたことにより、1,433 件となった。

(注2) 「法人文書(上記以外の移管)」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿(神戸大学法人文書管理規則第10条)に未掲載の古い法人文書、職員手控え書類及び門標等のモノ資料を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。



1-3. 目録入力

【事業計画】 令和3年度における目録入力は、次のとおり実施する。

なお、インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」は毎月定期的に更新する。

・対象

- ① 令和3年度に受け入れた法人文書
- ② 令和3年度に受け入れた学内印刷刊行物
- ③ 令和3年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等
- ④ 前年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等のうち、未整理分(受入後1年以内)
- ⑤ 令和3年度に受け入れた参考図書

なお、①～④は、受け入れ後1年以内の排架・公開を目指す(大学文書史料室利用等要項(国の特歴ガイドラインに基づき制定。以下「利用等要項」という。)第3条第2項)。ただし、①のうち、旧神戸商船大学時代の法人文書593件については、件数が多いため、受け入れ後3年以内(令和5年度末まで)の排架・公開を目指す。

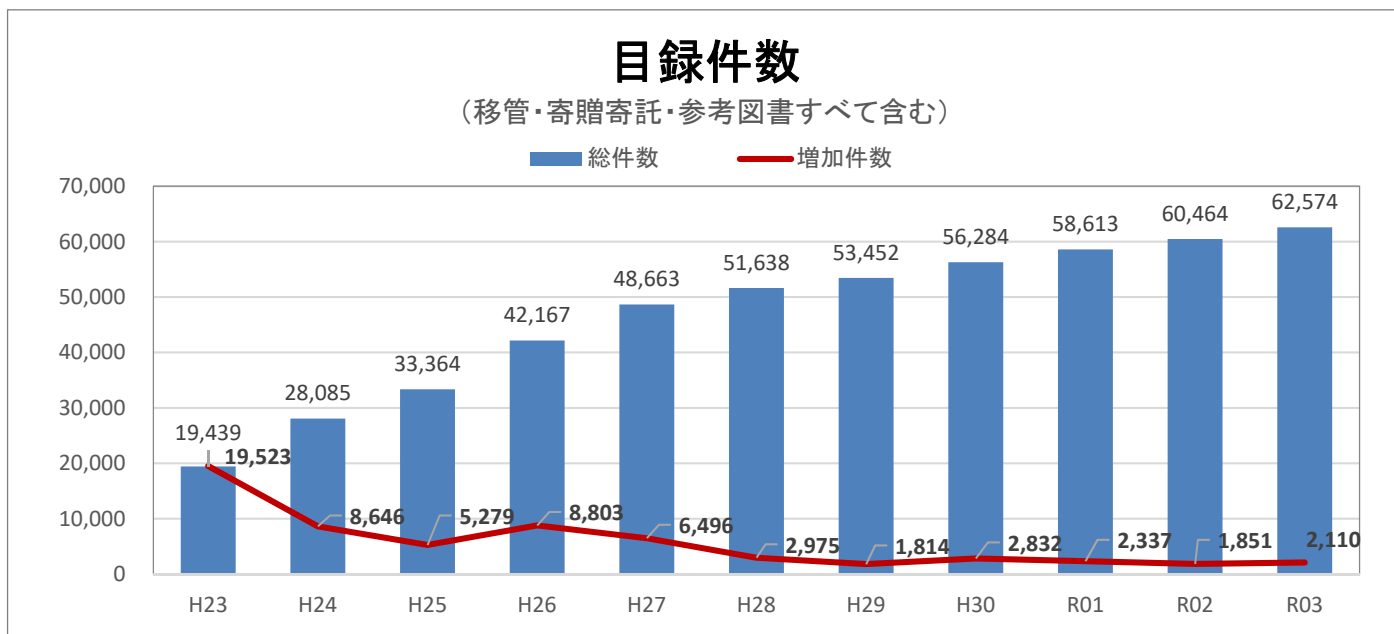
- ・ 令和3年度における目録入力の件数は2,110件であり、目録総件数は62,574件となった。なお、令和5年度末までの3年計画であった旧神戸商船大学関係文書の事後処理を2年早く令和3年度中に完了させた。
- ・ インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。
- ・ 国立公文書館など全国の公文書館等26館(前年度より4館増加)との横断検索による連携を充実させるため、目録情報2,110件を追加提供し、全国他機関との連携に貢献した。

令和3年度における目録入力実績の内訳

対象		目録入力件数	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書	1,443件
		学内印刷刊行物	450件
	(小計)	1,893件	
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	93件	1,986件
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)		124件
[上記合計] 令和3年度目録入力件数(①)			2,110件
[参考] 平成22-令和2年度目録入力件数(②)			60,464件
目録総件数(①+②)			62,574件

(注1) 「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。

(注2) 「目録入力件数」の数値は、受入れ時点の件数とは異なる場合がある(受入れ時点では分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため)。また、令和2年度以前受入れ分の遡及入力の件数を含む。



2. 利用状況等

【事業計画】 利用請求等への対応

利用者からの利用請求、簡易閲覧申込み、写しの交付請求に対して迅速かつ確実な対応に努めるとともに、一般利用の促進を図るため、展示会の開催、見学者の受入れ、所蔵資料のデジタル化、国立公文書館との連携による横断検索目録の充実、レファレンス対応(問い合わせに対する史料調査及び情報提供)等を積極的に行う。

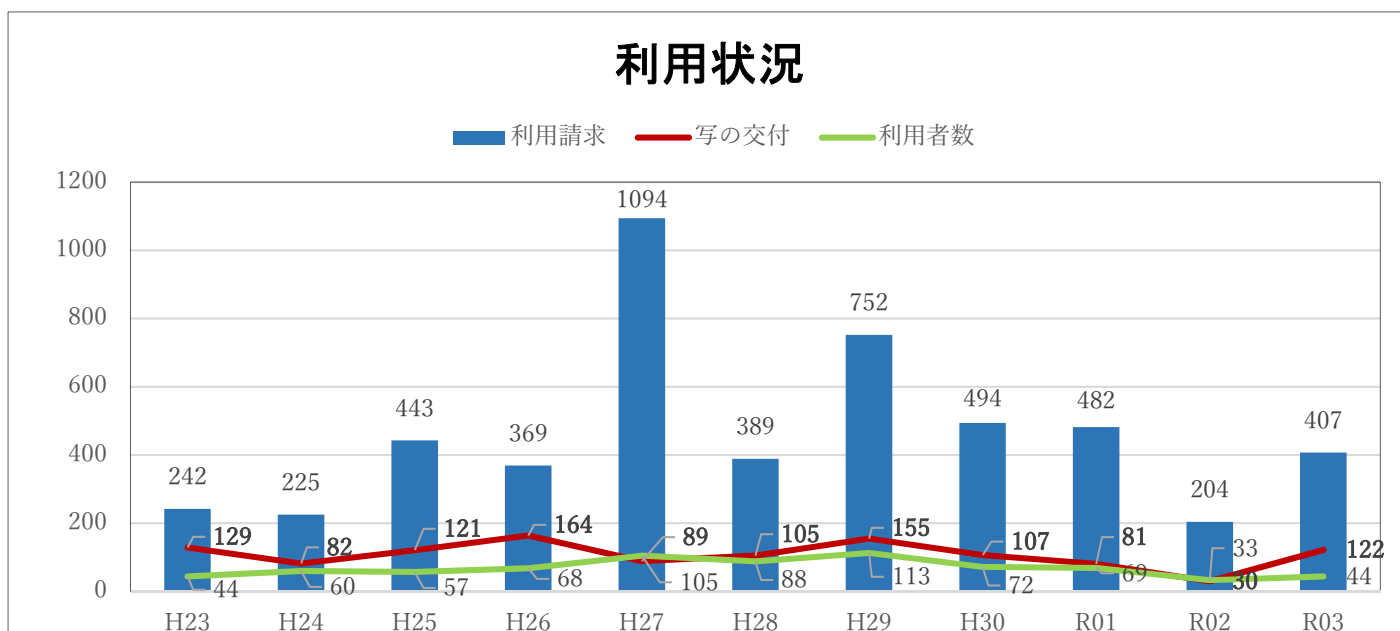
2-1. 利用状況

- 令和3年度における資料利用件数は、前年度より203件増加して407件(前年度比200%)、利用者数は、前年度より11名増加して44名(前年度比133%)であり、その内訳は下表のとおり。
- 一般利用者の利用に供するため、展示会及びレファレンス等に積極的に対応した(次項以降参照)。

令和3年度における利用状況

		利用者数	利用件数(注)		
			閲覧(①)	写しの交付(②)	合計(①+②)
本学	教員	2名	13件	0件(0枚)	13件
	教員以外の職員	16名	71件	0件(0枚)	71件
	学生	0名	7件	0件(0枚)	0件
	旧教員	0名	0件	0件(0枚)	0件
	旧教員以外の旧職員	6名	2件	5件(5枚)	7件
	卒業生	7名	14件	41件(218枚)	55件
他大学	教員	4名	42件	49件(294枚)	91件
	教員以外の職員	1名	134件	7件(232枚)	141件
	学生	0名	0件	0件(0枚)	0件
一般	マスコミ	0名	0件	0件(0枚)	0件
	その他	8名	9件	20件(69枚)	29件
合計		44名	285件	122件(818枚)	407件

(注)「利用件数」の数値は、(1)公文書管理法第16条に基づく利用請求の件数、(2)同法第24条に基づく移管元部局による利用の特例の件数、(3)「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン」第22条第1項に基づく簡便な方法による利用の件数の(1)～(3)を合計した件数。



2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化

【事業計画】 史料保存及び利用者の利便性を考慮して、所蔵文書等のデジタル画像（複製物）の作成、インターネット公開、目録データベースとの連携によるデジタル・アーカイブの充実を図る（利用等要項第7条、第22条第2項）。

・ 対象

① 『教養部広報』（印刷刊行物）

対象巻号： 第1号（昭和44（1969）年5月21日刊）～（速報・号外等を含む、作業冊数未定）

作業内容： デジタル画像作成。インターネット公開。事業初年度。

② 卒業アルバム1（印刷刊行物）

対象巻号： 旧制神戸商業大学・旧制神戸経済大学（作業冊数未定）

作業内容： デジタル画像作成。平成29年度からの継続事業。

③ 卒業アルバム2（印刷刊行物）

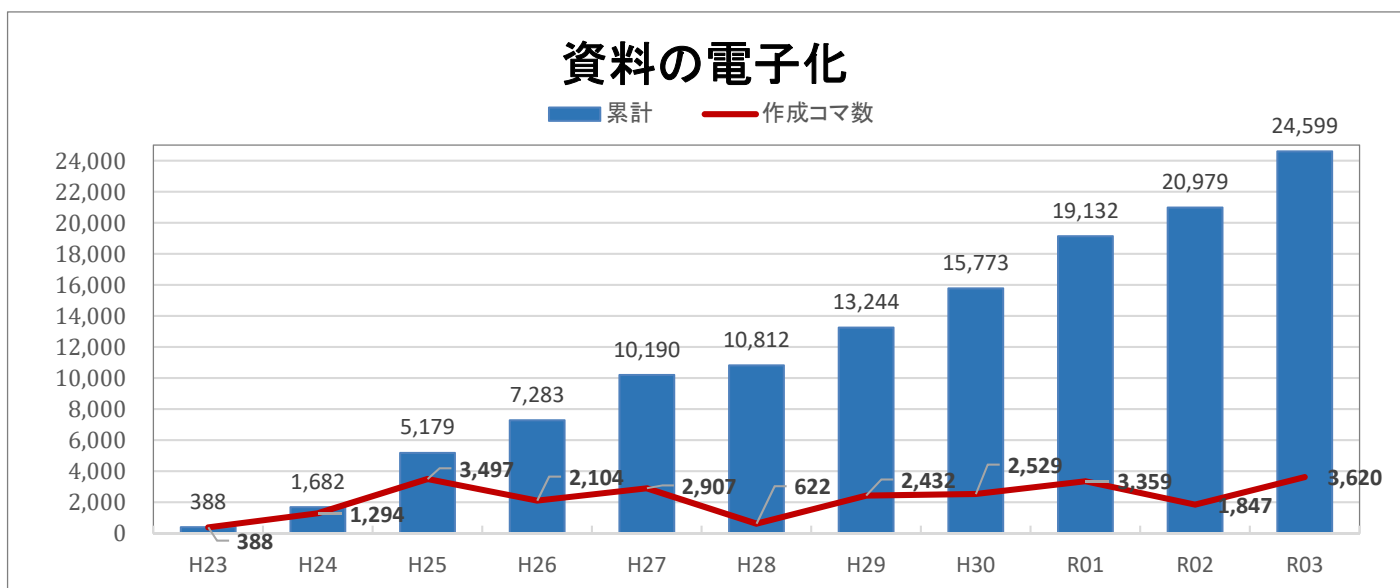
対象巻号： 旧制神戸高等工業学校（大正14（1925）年第1回卒業～、所蔵分のみ、作業冊数未定）

作業内容： デジタル画像作成。事業初年度。

- デジタル・アーカイブの充実及び史料原本の保護を図るため、(1)貴重な歴史的記録である「県立兵庫農科大学カンボジア学術調査資料」（昭和32年、スライド1,455枚、ネガ348枚）のデジタル画像1,803点（事業初年度）、(2)劣化が進む旧制神戸高等工業学校の卒業アルバム（所蔵分）の内、電気科3冊、機械科4冊、土木科7冊、建築科2冊、計16冊（大正14年～昭和17年、欠あり）のデジタル画像984コマ（事業初年度）、(3)劣化が進む旧制神戸商業大学の卒業アルバム（所蔵分）の内、第4回生（昭和10年）1冊のデジタル画像72点（平成29年度からの継続事業）、(4)『神戸大学教養部広報』第1号（昭和44年）～第62号（昭和58年）55冊（欠号あり）、速報第1号（昭和44年）～第8号（同年）8冊、計64冊のデジタル画像761点をそれぞれ作成した。なお、(1)は、本学教員（専門：カンボジア法）の全面協力の下に実施した。
- 利用者の利便性を考慮して、学術的価値及び利用頻度の高い上記(1)(4)のデジタル画像のインターネットでの公開を準備中（公開は令和4年9月実施予定の附属図書館システム更新後に実施予定）。なお、インターネットによる電子化史料公開ページ「デジタル・アーカイブ」（<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/da/>）の令和3年度アクセス数は、929件（学内318件、学外611件）（前年度比63%）であった。

令和3年度における電子化事業の状況

対象	画像作成	WEB公開
・兵庫農科大学カンボジア学術調査資料（スライド1,455枚、ネガ348枚）	1,803点	準備中
・旧制神戸高等工業学校の卒業アルバム16冊	984点	—
・旧制神戸商業大学の卒業アルバム1冊	72点	準備中
・『神戸大学教養部広報』（昭和44-58年刊分）64冊	761点	—
合計	3,620点	



2-3. 展示会の開催

【事業計画】

「展示その他の方法により積極的に一般の利用に供するよう努めなければならない。」とする公文書管理法第 23 条の趣旨に沿って、神戸大学の歴史に関する展示会を開催する(利用等要項第 23 条)。なお、展示会の開催に際しては、感染予防対策を徹底するものとし、兵庫県内の感染状況に応じて適宜休止等の措置を検討する。

・ 常設展

収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—」を常時開催する(ただし特別展の開催期間を除く)。学内改組等により展示内容の更新が必要になる場合は、経費等を勘案し可能な範囲で迅速に対応する。

・ 特別展・巡回展

- ① 第 16 回ホームカミングデイに合わせて特別展を開催する(10 月開催予定。テーマは別途検討)。
- ② 巡回展を 3 回開催する(神戸と東京において開催。11~12 月海事博物館、1 月東京六甲クラブ、2 月社会科学系図書館展示ホール開催予定。各会場の規模に合わせて特別展の内容を再構成)。

・ 他機関とのコラボ展

国立昭和館主催の巡回特別企画展「くらしにみる昭和の時代 兵庫展(仮称)」(会期:令和 3 年 10 月 7 日~17 日、会場:兵庫県立美術館(ギャラリー棟 3 階ギャラリー))に「共催」して、同会場で戦時下の神戸大学についての展示を実施する。(国立昭和館との初めてのコラボ展示)

- ・ 国立昭和館との初めての共催展示「くらしにみる昭和の時代 兵庫展」を兵庫県立美術館ギャラリーで開催し、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の方々に戦時中の神戸大学を紹介することができた。入場料無料、会期は 10 月 7 日から 17 日まで(11 日休館)の 10 日間、来場者数は 3,342 名(1 日平均 334 名)であった。
- ・ 常設展「神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—」を 4 月 1 日から再開し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 206 点を展示公開した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い 4 月 26 日から 6 月 20 日まで開催を休止し、さらに同宣言の再発出に伴い 8 月 20 日から開催を休止し、宣言解除後も展示替え及び特別展開催のため 11 月 28 日まで休止を続けた。常設展の来場者数は、4,290 名(前々年度比 90%(前年度はコロナ禍のため開催休止))であった。
- ・ 令和 3 年度特別展は、「大正時代の神戸大学—100 年前の学生たちの青春譜—」をテーマに、10 年前の大正時代における神戸大学の諸相について貴重な歴史資料や写真などで取り上げた。事前にテーマに係る史料の調査研究を実施し、その成果を展示に活用した。会期は 10 月 28 日から 11 月 19 日までの土・日・祝日を含む 23 日間。開催に当たっては感染防止対策に努め、来場者数は、長期開催の前年度より 310 名減少して 1,339 名(前年度比 81%)であったが、通常開催の前々年度(令和元年度)より 326 名増加(前々年度比 132%)であった。なお、来場者アンケート結果によれば、回答者 122 名中、とても満足 63 名(52%)、満足 57 名(47%)、やや不満 1 名(1%)、不満 1 名(1%)であり、総合的な満足度 98%の高評価を得た。
- ・ 令和 3 年度巡回展を神戸大学海事博物館で開催し、会期は 12 月 1 日から 1 月 31 日まで(12 月 23 日から 1 月 16 日までの会場休館期間を除く)の月・水・金の 17 日間、来場者数は 43 名(前々年度比 25%(前年度はコロナ禍のため開催中止))であった。なお、2 月開催予定であった東京六甲クラブ及び社会科学系図書館での巡回展は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大(第 6 波)のため中止となった。

令和 3 年度における展示活動の状況

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
コラボ展	国立昭和館との共催展示 「くらしにみる昭和の時代 兵庫展」	R3.10.7(木)~ R3.10.17(日)	兵庫県立美術館 ギャラリー 棟 3 階 ギャラリー	3,342 名
常設展	神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—	常時(展示替、特別 展開催時を除く) (コロナ禍等のため R3.4.26~R3.6.20、 R3.8.20~R3.11.28 開催休止)	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	4,290 名

特別展	大正時代の神戸大学 －100年前の学生たちの青春譜－	R3.10.28(木)－ R3.11.19(金)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	1,339名
巡回展 (神戸Ⅰ)	大正時代の神戸大学 －100年前の学生たちの青春譜－	R3.12.1(水)－ R4.1.31(月)	神戸大学海事博物館	43名
巡回展 (東京)	大正時代の神戸大学 －100年前の学生たちの青春譜－ パネル展	(コロナ禍のため開 催中止)	神戸大学東京六甲クラブ	－
巡回展 (神戸Ⅱ)	大正時代の神戸大学 －100年前の学生たちの青春譜－	(コロナ禍のため開 催中止)	神戸大学社会科学系図書 館2階展示ホール	－
合計				9,014名



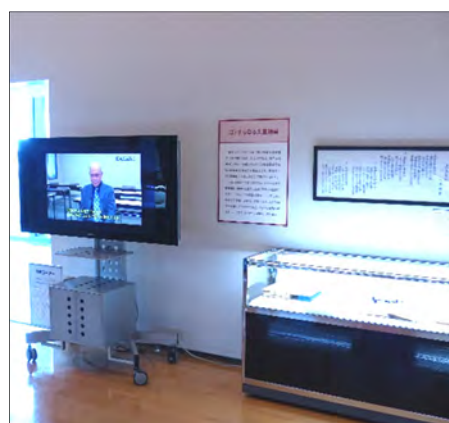
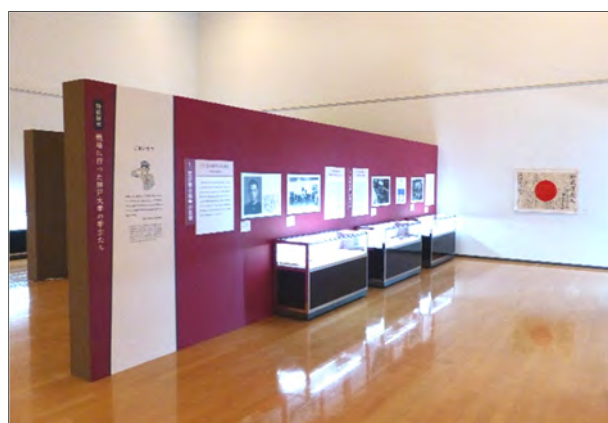
特別展チラシ



特別展(東側)

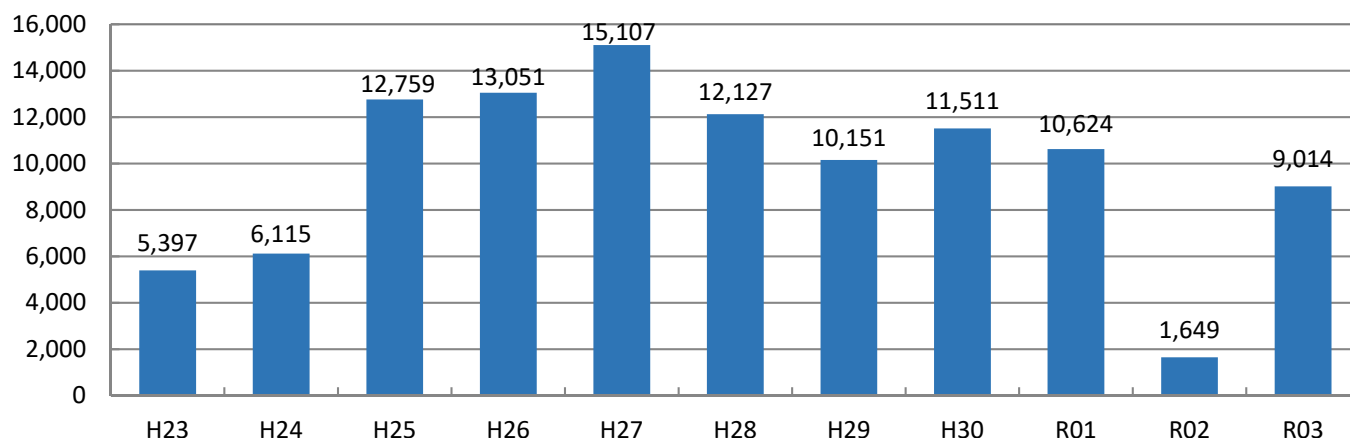


特別展(西側)



国立昭和館とのコラボ展(左:会場西側の一部、中:本学卒業生のオーラルヒストリー映像等、右:案内チラシ)

展示会等入場者数



2-4. 他機関等からの見学受入れ

- 他機関等からの見学(視察)が3機関37名あり、その内訳は下表のとおり。

令和3年度における見学の受入れ状況

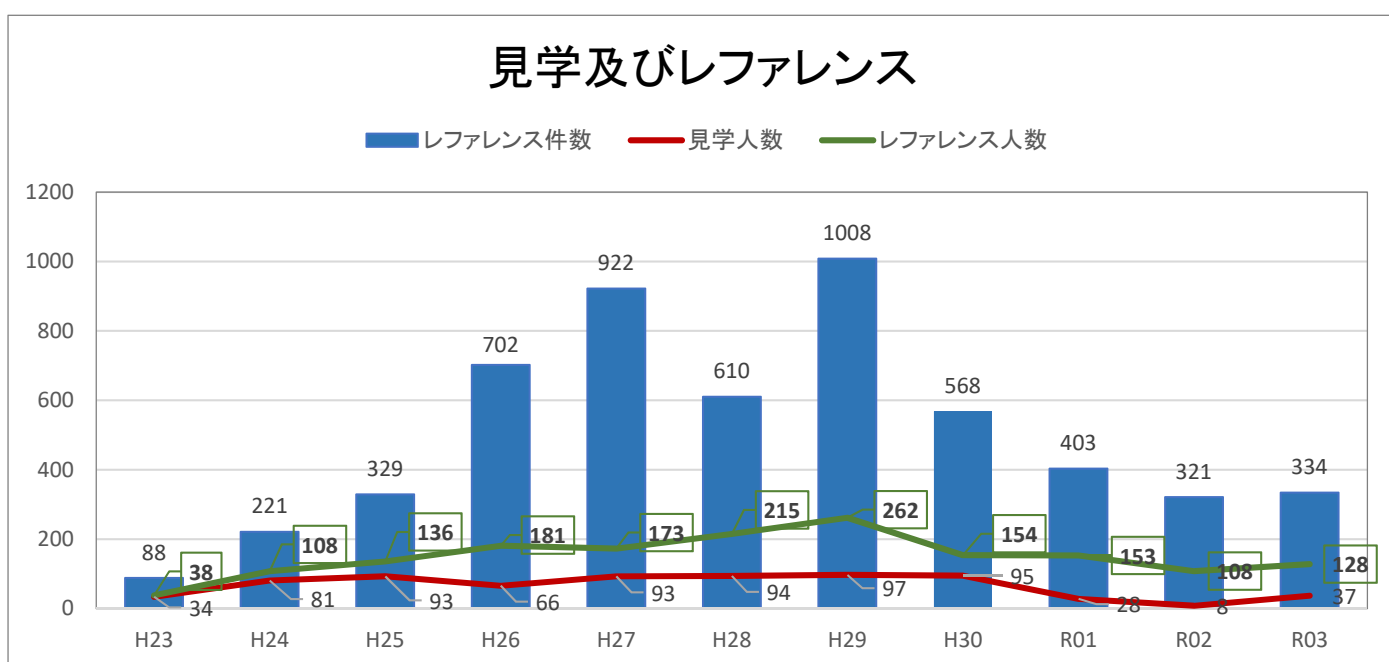
年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
R3. 10. 29(金)	神戸大学文学部講義「人文学基礎・地理学」(教員1名、受講生15名)	16名
R3. 11. 01(月)	神戸大学文学部講義「博物館資料保存論」(教員1名、受講生19名)	20名
R4. 03. 16(水)	東京外国語大学(職員1名)	1名
合計		3機関37名

2-5. レファレンス対応

- 学内外からの各種照会(主に調査相談)は、334件(前年度比104%)、128名(前年度比119%)あり、それぞれ情報提供を行った。

令和3年度におけるレファレンス活動

対象		件数(人数)	対象		件数(人数)
本学	教員	29件(15名)	他 大 学 一 般	教員	41件(12名)
	教員以外の職員	105件(41名)		教員以外の職員	3件(3名)
	学生	0件(0名)		学生	2件(1名)
	旧教員	14件(10名)		マスコミ関係	2件(2名)
	旧教員以外の旧職員	1件(1名)		その他(周辺住民等)	48件(18名)
	卒業生	83件(21名)		合計	334件(128名)
	関係諸団体(同窓会等)	6件(4名)			



3. 研修その他

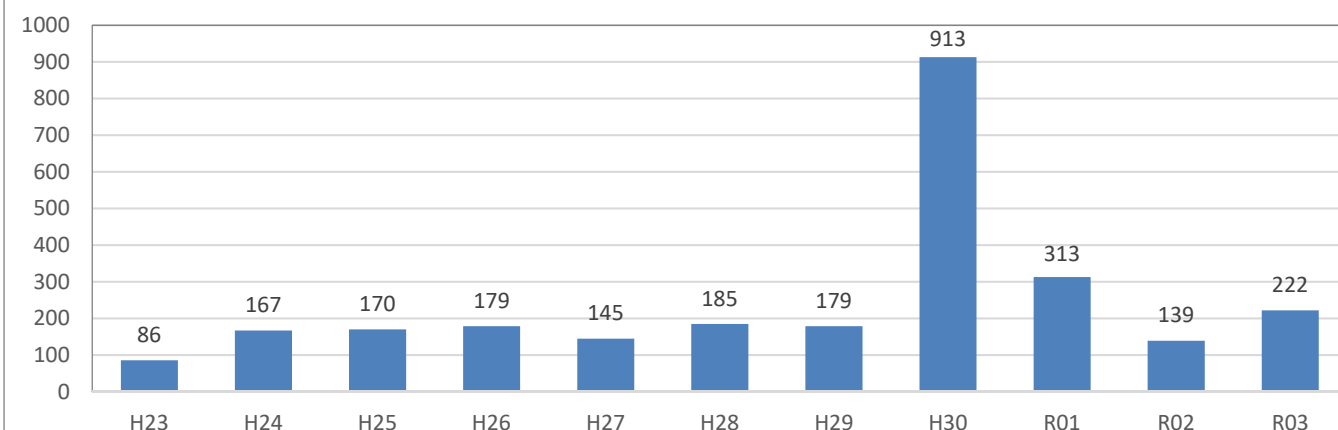
3-1. 研修の実施

- 公文書管理法第 32 条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。なお、全職員(教員を含む)対象の法人文書管理研修(e-ラーニング)は、総務部総務課との共催であり、大学文書史料室は主に講義資料(教材)の作成を担当した。

令和 3 年度における研修実施の内容

研修名	対象者	テーマ・内容	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	R3.4.1(木)から (コロナ禍のため オンデマンド型遠隔 研修実施)	54 名	総務部人事課主催
法人文書管理研修(e-ラーニング)	神戸大学の 1)事務系職員 2)教員 3)文書管理者 及び文書管理担当者	各対象者向けに下記3つの教材を使用し、1)・2)の教材を作成。 1)神戸大学における法人文書管理業務の一般的な内容 2)教員文書の管理に関する内容 3)適正な文書管理を確保する実施責任者向けの内容(内閣府作成の汎用教材を使用)	通年実施、 R3.12.27(月)から教材更新(オンデマンド型遠隔研修)	161 名	・総務部総務課との共催 ・理解度テスト「ケーススタディ(事例演習)」付き ・令和 3 年度より教員用教材に解説の音声を付加
大学文書史料室研修	大学文書史料室の職員	1)兵庫県立大学「旧制姫路高等学校記念室」見学・史料調査 2)総合教養科目「神戸大学史 B」学長講義受講	1)R3.7.15(木) 2)R3.8.2(月) (リアルタイム型遠隔授業)	1) 4 名 2) 3 名	大学文書史料室利用等要項 30 条 1 項の規定に基づく室員研修

研修受講者数



3-2. その他

● 内閣総理大臣への令和 2 年度状況報告

公文書管理法第 26 条第 1 項に規定する報告義務に基づき、令和 3 年 7 月 30 日付け神大史室第 3-3-1 号により、「令和 2 年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況」を内閣総理大臣に報告した。なお、本報告の概要は、令和 4 年 3 月に内閣府大臣官房公文書管理課から「令和 2 年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

● 令和 3 年度全国公文書館長会議への参加(コロナ禍のためオンライン参加)

国立公文書館主催「令和 3 年度全国公文書館長会議」(令和 3 年 6 月 10 日開催)に室長及び室員がオンライン形式で出席し、「アーキビスト認証について」及び「防災対策－水害対策の事前準備－」をテーマに討論を行った。

● 規則等の改正

- 1) 令和元年度に実施した利用制限情報に関する調査研究の成果を踏まえて「個人情報の利用審査マニュアル」を一部改正し内容を充実させることにより、業務の効率化・標準化を進めた(令和 3 年 6 月 3 日改正施行)。
- 2) 特定歴史公文書等の紛失等が発生した場合の対応等の規定を新設する「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン」(平成 23 年 4 月 1 日内閣総理大臣決定)の一部改正(令和 3 年 4 月 14 日改正、同月 19 日施行)に伴い、「神戸大学大学文書史料室利用等要項」について所要の改正を行った(令和 3 年 7 月 30 日改正、同年 8 月 1 日施行)
- 3) 「個人情報」の定義を改正する同前ガイドラインの一部改正(令和 4 年 1 月 25 日改正、同年 4 月 1 日施行)に伴い、「神戸大学大学文書史料室利用等要項」について所要の改正を行った(令和 4 年 3 月 30 日改正、同年 4 月 1 日施行)。

● コロナ禍における利用者のオンライン利用促進

コロナ禍において、利用者来室不要の遠隔利用を促進するため、電子メール等のオンライン・サービスによるレファレンス(114 件)、利用請求受付(288 件)、写しの交付(89 件)に積極的に対応した。

● 書庫収容力の向上

書庫の狭隘を解消するため、集密書架 1 台を増設することにより収蔵能力が向上した。

● 法人文書管理状況監査への同行

総務部総務課が実施する令和 3 年度法人文書管理状況監査に同行(2 回)し、本学における文書管理状況の把握に努め、問題点の共有を図ると共に、法人文書管理研修の教材改善に反映させた。

● 調査研究への協力

国立昭和館主催の兵庫県オーラルヒストリー(証言映像)制作のための調査(前年度に引き続き 2 回目)に協力していたが、コロナ禍のため中止となった。

● 寄稿(依頼原稿)

利用者支援及び広報の充実を図るため、執筆依頼に応じて史料の調査研究を実施し、本学統合報告書 1 回、本学広報誌 2 回、同窓会誌 4 回の寄稿を次のとおり行った。

- 1) 「新野幸次郎先生の学生時代(1)－入学前のこと－大学文書史料室から(38)－」
(同窓会誌『凌霜』第 429 号、神戸大学凌霜会、令和 3 年 4 月号、26-28 頁)
- 2) 「新野幸次郎先生の学生時代(2)－学友たちのこと－大学文書史料室から(39)－」
(同窓会誌『凌霜』第 430 号、神戸大学凌霜会、令和 3 年 7 月号、26-28 頁)
- 3) 「「神大」ヒストリー 神戸大学医学部附属病院」
(神戸大学広報誌『風』Vol.17、神戸大学総務部広報課、令和 3 年 7 月、2 頁)
- 4) 「新野幸次郎先生の学生時代(3)－恩師のこと－大学文書史料室から(40)－」

(同窓会誌『凌霜』第 431 号、神戸大学凌霜会、令和 3 年 10 月号、26-28 頁)

5) 「〈コラム〉神戸大学の学問の継承」

(『神戸大学統合報告書 2021』、神戸大学ビジョン発信プロジェクト、令和 3 年 10 月、24 頁)

6) 「「神大」ヒストリー 神戸大学工学部」

(神戸大学広報誌『風』Vol.18、神戸大学総務部広報課、令和 3 年 12 月、2 頁)

7) 「新野幸次郎先生の学生時代(4・完)ー就職その他のことー大学文書史料室から(41)ー」

(同窓会誌『凌霜』第 432 号、神戸大学凌霜会、令和 4 年 1 月号、22-25 頁)

● **神戸大学沿革図の作成**

- 1) 『令和 3 年度学生生活案内』(学務部、4 月刊行)掲載の本学沿革図を作成した。
- 2) 『神戸大学大学概覧 2021』(総務部広報課、11 月刊行)掲載の本学沿革図を作成した。

● **学内記念事業への協力**

- 1) 神戸大学創立 120 周年記念特設サイト歴史紹介ページ「120 年の軌跡」の作成に協力した。
- 2) 経済学部オンラインオープンキャンパス 2021「キャンパスツアー」動画の作成に協力した。
- 3) 『神戸大学案内 2021-2022』(学務部入試課、7 月刊行)の「神戸大学の歴史」ページを作成した。
- 4) 『神戸大学統合報告書 2021』(神戸大学、10 月刊行)の「〈コラム〉神戸大学の学問の継承」の原稿を作成し、「神戸大学の歴史」及び「学部と大学院研究科の変遷」ページの作成に協力した。

● **大学史及びアーカイブズ学関連講義の講師担当**

本学の歴史及びアーカイブズ学に係る次の講義に協力して講師を担当した(大学史講義 3 回、アーカイブズ学講義 1 回、実習 4 回(2 日間))。

- 1) 総合教養科目「神戸大学史A・B」の講師を担当した(前期 3 回、オンデマンド型遠隔授業)。
- 2) 文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論A」の講師を担当した(前期 1 回、オンライン型遠隔授業(リアル配信))。
- 3) 文学部専門科目「博物館実習C」の講師を担当した(後期 4 回、対面実習)。

● **講演会・学外研修会の講師担当**

本学の歴史に係る次の講演会・学外研修会の講師を担当した(学外 2 回)。

- 1) 凌霜会主催「神戸凌霜午餐会第 1547 回例会」において講演を行った(7 月 14 日、楠公会館、参加者 60 名)。
- 2) 国立公文書館主催「アーカイブズ研修 I」の講師を担当した(8 月 24 日、オンライン(リアル配信)、受講者 91 機関 146 名)。

● **寮歌祭への参加(コロナ禍のため開催中止)**

旧制前身校同窓会との交流を深めるため例年寮歌祭に参加していたが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催が中止された。

沿革

2010(平成22)年4月1日	神戸大学附属図書館大学文書史料室設置
2010(平成22)年4月1日	旧百年史編集室主催の神戸大学史常設展(百年記念館1階展示ホール)を継承
2010(平成22)年10月	特別展「神戸大学と戦争—終戦65周年記念—」を開催(10月25日-11月5日) (以後、毎年度テーマを変更して特別展を開催)
2011(平成23)年4月1日	「国立公文書館等」の政令指定を受ける
2011(平成23)年4月1日	一般利用開始
2011(平成23)年度	全学対象の移管受入れを開始(以後、毎年度定期的実施)
2018(平成30)年4月1日	神戸大学大学文書史料室に改組

歴代大学文書史料室長

福長 進(人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成22年4月1日～平成23年3月31日
大塚 裕史(法学研究科教授、附属図書館副館長)	平成23年4月1日～平成25年3月31日
木下 資一(国際文化学研究科教授、附属図書館副館長)	平成25年4月1日～平成27年3月31日
大津留 厚(人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成27年4月1日～平成29年3月31日
浅野 慎一(人間発達環境学研究科教授、附属図書館副館長)	平成29年4月1日～平成31年3月31日
中野 俊一郎(法学研究科(法科大学院)教授)	平成31年4月1日～令和2年9月30日
小野 博司(法学研究科教授)	令和2年10月1日～現在

令和3年度 評価と課題

令和2年1月に国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、令和3年度を通じても流行の波を繰り返しながら収束せず、感染拡大による兵庫県への緊急事態宣言が4月23日から6月20日まで、8月20日から9月30日までの2度にわたり発出されるなど、当室においても前年度に引き続きコロナ禍の制約を受ける一年となった。

このようなコロナ禍の中、感染予防対策を十分に講じた上で、国立昭和館との初めてのコラボ展示を兵庫県立美術館ギャラリーで開催し、利用者のオンラインによる遠隔利用にも積極的に対応すると共に、政令指定機関としての法的義務を全うするため、歴史公文書等の受入れ、目録入力、利用請求の対応、展示活動、職員研修、電子化事業、内閣総理大臣への状況報告、見学受入れ等を実施、学内外の各種事業、大学史等関連授業、大学広報、同窓会活動等に協力して資料調査、講師派遣、寄稿、講演、マスコミ対応等を行った。また、旧神戸商船大学関係文書の事後処理を2年早く完了させると共に、「個人情報利用審査マニュアル」を充実させて利用審査業務の効率化・標準化を進めた。

今後の課題としては、令和4年度が神戸大学創立120周年に当たるため本学の各種記念事業への全面協力、また同年度に実施される図書館システムリプレイスへの対応(当室の特定歴史公文書等データベース、デジタルアーカイブ及びホームページの新システムへの移行と改訂)、令和5年春完成予定の自然科学系図書館改修に伴い新設される当室専用書庫の運用準備、電子文書の受入れ・長期保存・利活用に向けた整備、歴史公文書等の評価選別基準の見直しに向けた検討、多言語対応を含む効果的な展示の工夫、展示物の複製化、eラーニング研修教材の充実、利用支援のオンライン対応等が挙げられる。

神戸大学大学文書史料室概要（令和4年4月1日）

- (1) 名称： 神戸大学 大学文書史料室（英文名 Kobe University Archives）
- (2) 住所： 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学百年記念館1階
- (3) 設立： 平成22年4月1日
- (4) 政令指定： 平成23年4月1日（内閣総理大臣指定「国立公文書館等」）
- (5) 目的： 「大学文書史料室は、特定歴史公文書等（公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）第2条第7項に規定する特定歴史公文書等のうち、大学文書史料室に移管され、又は寄贈され、若しくは寄託されたものをいう。）その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする。」（「神戸大学の室に関する要項」第3条）
- (6) 延床面積： 243㎡（内訳：閲覧スペース12㎡、事務室19㎡、作業室28㎡、書庫102㎡、展示ホール63㎡、観覧スペース19㎡）
- (7) 職員数：

兼任教員（室長（法学研究科教授））	1名
専任職員（室長補佐（主任政策研究職員））	1名（認証アーキビスト）
事務員（再雇用職員）	1名
事務補佐員（週30時間）	1名
事務補佐員（週12時間）	1名
- (8) 所蔵文書： 目録登録総数62,574件（内訳：特定歴史公文書等58,627件、参考図書3,947件）
代表的な収蔵文書は下記のとおり。

○前身学校

- ・旧制神戸高等商業学校文書（明治35年～昭和4年） 約1000点
- ・旧制神戸商業大学文書（昭和4年～昭和19年） 約1200点
- ・旧制神戸経済大学文書（昭和19年～昭和27年） 約400点
- ・旧制姫路高等学校文書（大正13年～昭和24年） 約300点
- ・旧制神戸高等工業学校・工業専門学校文書（大正10年～昭和26年） 約700点
- ・旧制御影・姫路師範学校等附属小学校文書（明治20年代～昭和24年） 約550点
- ・県立農科大学・兵庫農科大学文書（昭和24年～昭和44年） 約170点
- ・神戸商船大学文書（昭和24～平成15年） 約600点 など

○神戸大学

- ・神戸大学設置関係文書（昭和20年代） 約10点
- ・神戸大学学報（昭和25年～平成7年） 約500点
- ・神戸大学評議会議事録等（昭和24年～平成初期） 約150点
- ・県立大学国立移管関係文書（昭和30、40年代） 約20点
- ・旧姫路分校文書（昭和20、30年代） 約200点
- ・旧御影分校文書（昭和20、30年代） 約400点
- ・各教授会記録（昭和20年代～平成初期） 約700点 など

○個人・団体

- ・旧制神戸商業大学初代学長田崎慎治旧蔵文書 約120点
- ・旧制神戸商業大学予科同窓会凌霜思誠会旧蔵文書等 約200点
- ・旧制兵庫県明石女子師範学校同窓会明玉会旧蔵文書等 約200点 など



竹原常太著 スタンダード和英大辞典 鉛版
(1924 (大正 13 年) 頃 竹原常太氏旧蔵)

令和 5 年 3 月

神戸大学大学文書史料室

<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/> archives@lib.kobe-u.ac.jp